

グローバル株式トップフォーカス

運用報告書(全体版)

第6期(決算日 2022年3月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル株式トップフォーカス」は、2022年3月15日に第6期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託期間	2016年3月31日から2026年3月16日までです。
運用方針	主として、世界の株式(預託証券を含みます。)を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要運用対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<643076>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債権組入比率	証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金配分	み騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
2期(2018年3月15日)	13,018	0	15.9	—	97.0	34
3期(2019年3月15日)	14,046	0	7.9	—	96.6	115
4期(2020年3月16日)	12,788	0	△ 9.0	—	97.4	28
5期(2021年3月15日)	20,810	0	62.7	—	98.0	61
6期(2022年3月15日)	21,521	0	3.4	—	97.7	287

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

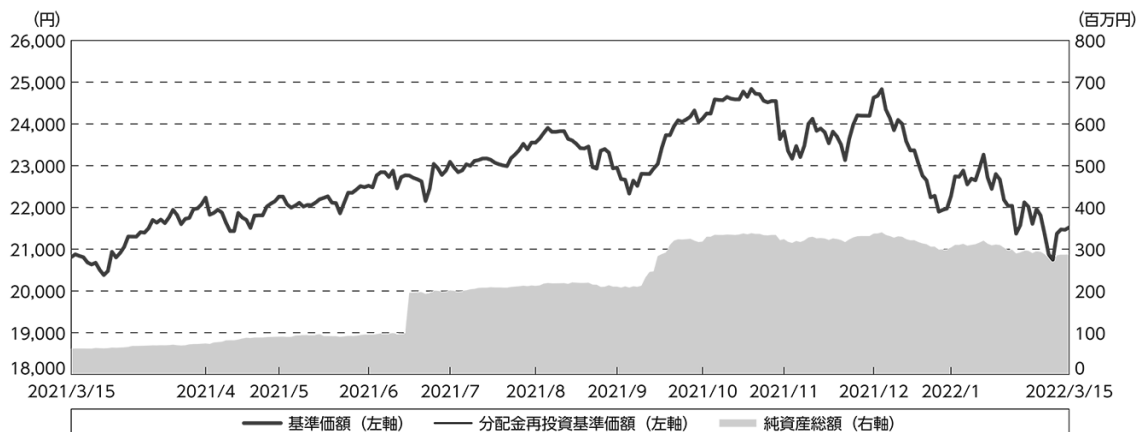
年月日	基準価額	騰落率	証券組入比率
3月末	20,908	0.5	97.5
4月末	22,234	6.8	97.3
5月末	22,259	7.0	97.7
6月末	22,520	8.2	97.8
7月末	23,092	11.0	98.1
8月末	23,552	13.2	98.3
9月末	22,954	10.3	97.8
10月末	24,128	15.9	97.8
11月末	23,820	14.5	97.9
12月末	24,629	18.4	97.9
2022年1月末	22,272	7.0	98.2
2月末	22,122	6.3	97.9
(期末) 2022年3月15日	円 21,521	% 3.4	% 97.7

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年3月16日～2022年3月15日)

期中の基準価額等の推移



期首：20,810円

期末：21,521円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： 3.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2021年3月15日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、ルクセンブルグ籍外国投資法人「日興AMグローバル・エクイティー・ファンド クラスP」円建投資証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・各国の支援的な財政・金融政策などが追い風となったこと。
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や経済の再開が追い風となり、コロナ収束後の景気回復期待が高まったこと。
- ・好調な製造業や輸出がけん引役となり、景気回復が世界的に予想を上回ったこと。

<値下がり要因>

- ・インフレが予想以上に高まり、米国の金利が急上昇したこと。
- ・ロシアのウクライナ侵攻により、欧州を中心に地政学的リスクが高まったこと。

投資環境

(株式市況)

期間中は、新型コロナウイルス新規感染者数の増減の波が、株式市場のボラティリティ（価格変動性）を高めました。2021年末からはオミクロン型変異株の感染が拡大し、感染力が高いことから一部の国では医療体制の逼迫が続いていますが、これまでの変異株に比べると毒性は低いとみられています。現在は、世界の多くの人々がワクチン接種を完了しているか、または過去の感染により抗体を保有していることから、オミクロン株の感染拡大による経済的なダメージは限定的となると期待されています。

また、インフレやそれに対する金融政策も、株式市場の主要な課題となりました。物価上昇の一部は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた供給制約により引き起された一時的なものです。一方で、エネルギー価格、家賃、労働力などは、持続的なインフレ圧力であると考えられます。米国連邦準備制度理事会（FRB）はタカ派（景気に対して強気）的な姿勢を強めており、市場では今後複数回の利上げが予想されています。これは割引率の上昇につながり、さらに長期グロース株の低迷にもつながっています。インフレから利益率を守れない企業は売りの対象となり、収益の分配がますます重要になっています。

2022年2月下旬にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、地政学的リスクが高まっています。緊張が高まっていることを考えると、少しでも外交的解決に向けて進展が見られれば株式市場は回復する可能性があります。そのような迅速で楽観的な進展は実現しそうにありません。欧州では、エネルギー安全保障が目されるなか、株式市場はリスク回避の矢面に立たされています。欧州は、天然ガス、石油、石炭などについて輸入依存度が高いことから、代替エネルギーへの投資を加速しており、ウクライナ情勢の行方にかかわらず、この成長は持続的なテーマとなりそうです。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.10%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.08%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

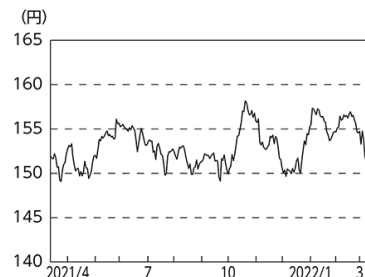
円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／イギリスポンドの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP)

2021年12月末までは好調に推移したものの、2022年1月以降は低迷しました。インフレの持続的な高まりや金融引き締めへの懸念が、グロース株から主に商品や銀行などのバリュー株への急激なローテーションにつながりました。高い資本集約度や景気循環に対する利益感応度などを考えると、これらのセクターには、持続的な高リターンを追求する当ファンドの投資要件を満たす銘柄が少ない傾向があります。エネルギーセクターの組入比率が低いことも、エネルギーセクターが大きく上昇した局面において逆風となりました。また、ヘルスケア、生活必需品、金融などのセクターにおける銘柄選択も、マイナス要因となりました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 6 期	
	2021年3月16日～ 2022年3月15日	
当期分配金	—	
(対基準価額比率)	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	11,521	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP)

当ファンドにおける「将来的なクオリティ」の理念に沿った銘柄選別では、現在の経済状況に依存しない企業を選好する傾向があります。足元の環境では、大手石油企業や銀行の保有比率が高い主要指数と比較すると、パフォーマンス面で逆風となる可能性はあるものの、バリュエーション(株価評価)に焦点を当てているため、ローテーションが続く局面でアンダーパフォームする可能性が高いセクターの保有は限定的ですと考えています。長期的には、この運用方針が収益化につながると確信しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年3月16日～2022年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 272	% 1.188	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(126)	(0.550)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(138)	(0.605)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(8)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	23	0.102	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(22)	(0.097)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	295	1.290	
期中の平均基準価額は、22,874円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

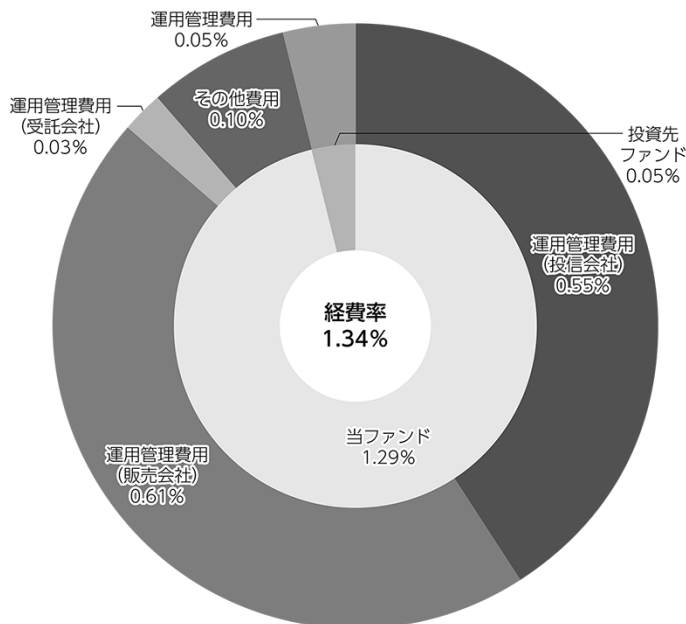
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.34%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.34
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2022年3月15日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP	千口 104,891	千円 260,992	千口 12,417	千円 30,734

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 286	千円 287	千口 54	千円 54

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2022年3月15日)

利害関係人との取引状況

<グローバル株式トップフォーカス>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年3月16日～2022年3月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年3月16日～2022年3月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年3月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP		26,913	119,387	281,192	97.7
合 計		26,913	119,387	281,192	97.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		58	290	290

(注) 親投資信託の2022年3月15日現在の受益権総口数は、666,740千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 281,192	% 96.0
マネー・アカウント・マザーファンド	290	0.1
コール・ローン等、その他	11,340	3.9
投資信託財産総額	292,822	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	292,822,155
コール・ローン等	11,338,843
投資証券(評価額)	281,192,493
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	290,819
(B) 負債	5,130,279
未払解約金	3,146,415
未払信託報酬	1,774,897
未払利息	1
その他未払費用	208,966
(C) 純資産総額(A-B)	287,691,876
元本	133,678,449
次期繰越損益金	154,013,427
(D) 受益権総口数	133,678,449口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,521円

(注) 当ファンドの期首元本額は29,634,713円、期中追加設定元本額は128,077,354円、期中一部解約元本額は24,033,618円です。

(注) 1口当たり純資産額は2,1521円です。

○損益の状況 (2021年3月16日～2022年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,214
受取利息	1
支払利息	△ 1,215
(B) 有価証券売買損益	△ 11,083,187
売買益	1,576,418
売買損	△ 12,659,605
(C) 信託報酬等	△ 2,728,953
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 13,813,354
(E) 前期繰越損益金	11,786,500
(F) 追加信託差損益金	156,040,281
(配当等相当額)	(89,741,985)
(売買損益相当額)	(66,298,296)
(G) 計(D+E+F)	154,013,427
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	154,013,427
追加信託差損益金	156,040,281
(配当等相当額)	(89,741,985)
(売買損益相当額)	(66,298,296)
分配準備積立金	11,786,648
繰越損益金	△ 13,813,502

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年3月16日～2022年3月15日)は以下の通りです。

項 目	2021年3月16日～ 2022年3月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	142,226,779円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	11,786,648円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	154,013,427円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	11,521円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2021年3月16日から2022年3月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP	
	ルクセンブルグ籍外国投資法人	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いません。	
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・先進国および新興国の株式を主要投資対象とします。 ・運用にあたっては、ボトムアップの企業分析とトップダウンのマクロ見通しを融合して、ポートフォリオを構築します。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産の5%を超えてUCITSやその他UCIs (ETFを除きます。)への投資は行いません。 ・原則として、同一発行体が発行する有価証券の組入れは、純資産総額の10%以内とします。 ・借入れ額は、純資産総額の10%以内とします。 	
収益分配	投資主総会もしくは取締役会の決議で収益分配を行なうことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.05% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッド	
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド
投資ポートフォリオ

2020年12月31日現在

通貨	株数	明細	純資産に 占める 割合(%)	市場価格
		A. 証券取引所で相場が建てられているまたは他の規制市場で取り扱われている 譲渡可能証券 普通株式(97.2%)*		
		中国(4.5%)		
		インターネット(4.5%)		
HKD	67,900	Meituan Class B	1.3%	USD 2,579,795
HKD	85,900	Tencent Holdings Ltd.	3.2	6,248,199
		インターネット合計		<u>8,827,994</u>
		中国合計		<u>8,827,994</u>
		フランス(2.4%)		
		電気部品・設備(2.4%)		
EUR	32,769	Schneider Electric SE	2.4	4,743,180
		フランス合計		<u>4,743,180</u>
		ドイツ(3.5%)		
		食品(3.5%)		
EUR	89,448	HelloFresh SE	3.5	6,916,867
		ドイツ合計		<u>6,916,867</u>
		ガーンジー(0.7%)		
		総合金融サービス(0.7%)		
GBP	146,092	Burford Capital Ltd.	0.7	1,419,870
		ガーンジー合計		<u>1,419,870</u>
		香港(2.4%)		
		保険(2.4%)		
HKD	378,800	AIA Group Ltd.	2.4	4,641,049
		香港合計		<u>4,641,049</u>
		インド(3.0%)		
		総合金融サービス(3.0%)		
INR	166,596	Housing Development Finance Corp. Ltd.	3.0	5,813,959
		インド合計		<u>5,813,959</u>
		アイルランド(6.0%)		
		建築材料(1.0%)		
EUR	28,532	Kingspan Group PLC	1.0	2,003,853
		コンピューター(2.9%)		
USD	21,393	Accenture PLC Class A	2.9	5,588,065
		食品(2.1%)		
EUR	28,510	Kerry Group PLC Class A	2.1	4,133,684
		アイルランド合計		<u>11,725,602</u>
		イスラエル(2.0%)		
		エネルギー-代替供給源(2.0%)		
USD	12,369	SolarEdge Technologies, Inc.	2.0	3,947,195
		イスラエル合計		<u>3,947,195</u>
		日本(7.8%)		
		建築材料(2.1%)		
JPY	18,800	Daikin Industries Ltd.	2.1	4,173,529
		家具什器(3.3%)		
JPY	63,800	Sony Corp.	3.3	6,355,591
		玩具/ゲーム/趣味(2.4%)		
JPY	7,500	Nintendo Co. Ltd.	2.4	4,782,072
		日本合計		<u>15,311,192</u>
		オランダ(1.8%)		
		ヘルスケア-製品(1.8%)		
EUR	64,304	Koninklijke Philips NV	1.8	3,444,574
		オランダ合計		<u>3,444,574</u>
		スウェーデン(2.3%)		
		機械-総合(2.3%)		
SEK	48,658	Hexagon AB Class B	2.3	4,442,441
		スウェーデン合計		<u>4,442,441</u>

通貨	株数	明細	純資産に 占める 割合(%)	市場価格
		普通株式(97.2%)* (続き)		
		英国(8.6%)		
		化学(1.1%)		
GBP	64,553	Johnson Matthey PLC	1.1%	USD 2,139,837
		化粧品/パーソナル・ケア(1.7%)		
GBP	54,496	Unilever PLC	1.7	3,271,746
		食品サービス(2.0%)		
GBP	211,890	Compass Group PLC	2.0	3,947,835
		ヘルスケア-製品(2.8%)		
USD	85,487	LivNova PLC	2.8	5,660,095
		保険(1.0%)		
GBP	109,120	Prudential PLC	1.0	2,009,206
		英国合計		17,028,719
		米国(52.2%)		
		銀行(2.8%)		
USD	14,045	SVB Financial Group	2.8	5,447,072
		飲料(2.9%)		
USD	102,697	Coca-Cola Co.	2.9	5,631,903
		商業サービス(4.2%)		
USD	53,685	TransUnion	2.7	5,326,625
USD	14,057	Verisk Analytics, Inc. Class A	1.5	2,918,093
		商業サービス合計		8,244,718
		電子機器(1.6%)		
USD	25,573	Woodward, Inc.	1.6	3,107,887
		ヘルスケア-製品(3.5%)		
USD	13,992	Bio-Techne Corp.	2.3	4,443,160
USD	10,796	Danaher Corp.	1.2	2,398,223
		ヘルスケア-製品合計		6,841,383
		ヘルスケア-サービス(10.0%)		
USD	14,938	Anthem, Inc.	2.4	4,796,442
USD	57,976	Encompass Health Corp.	2.4	4,794,035
USD	26,382	Laboratory Corp. of America Holdings	2.7	5,370,057
USD	23,370	LHC Group, Inc.	2.5	4,985,289
		ヘルスケア-サービス合計		19,945,823
		家具什器(2.4%)		
USD	48,430	Dolby Laboratories, Inc. Class A	2.4	4,704,006
		保険(7.6%)		
USD	21,873	Aon PLC Class A	2.4	4,621,109
USD	60,727	Palomar Holdings, Inc.	2.6	5,394,987
USD	51,459	Progressive Corp.	2.6	5,088,266
		保険合計		15,104,362
		インターネット(4.3%)		
USD	2,611	Amazon.com, Inc.	4.3	8,503,844
		機械-総合(2.2%)		
USD	15,967	Deere & Co.	2.2	4,295,921
		不動産投資信託(REITs)(1.0%)		
USD	8,930	American Tower Corp.	1.0	2,004,428
		小売(2.2%)		
USD	62,067	TJX Cos, Inc.	2.2	4,238,555
		ソフトウェア(7.5%)		
USD	9,432	Adobe, Inc.	2.4	4,717,132
USD	45,125	Microsoft Corp.	5.1	10,036,703
		ソフトウェア合計		14,753,835
		米国合計		102,823,737
		普通株式合計(取得原価143,106,222米ドル)		191,086,379
		証券取引所で相場が建てられているまたは他の規制市場で取り扱われている	97.2%	USD 191,086,379
		譲渡可能証券合計(取得原価143,106,222米ドル)	2.8	5,493,301
		負債額を超過する現金およびその他の資産		
		純資産合計	100.0%	USD 196,579,680

* すべての投資は公式取引所に上場されている譲渡可能証券である。

通貨表示

EUR	ユーロ
GBP	英ポンド
HKD	香港ドル
INR	インド・ルピー
JPY	日本円
SEK	スウェーデン・クローナ
USD	米ドル

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド 純資産計算書

2020年12月31日現在

	米ドル	
資産		
投資有価証券および買建オプション（市場価格）	USD	191,086,379
現金		5,364,496
外国為替先渡契約に係る未実現評価益		197,185
未収金：		
運用会社からの払戻		66,235
配当		48,733
申込受益証券		16,678
その他の資産		10,971
資産合計		196,790,677
負債		
外国為替先渡契約に係る未実現評価損		121,742
未払金：		
購入した投資		62
運用報酬		17,656
預託費用		9,215
管理報酬		11,470
年次税		4,866
弁護士報酬		8,084
監査報酬		15,534
名義書換代理人報酬		1,987
その他の負債		20,381
負債合計		210,997
純資産合計	USD	196,579,680
受益証券 1 口当たり純資産価額：		
クラス A USD	USD	22.81
クラス B EUR	EUR	14.54
クラス B USD	USD	15.54
クラス D GBP	GBP	17.66
クラス P JPY	JPY	2.06
クラス P（JPYヘッジド・ユニット）	JPY	1.55
クラス U AUD	AUD	20.81

	米ドル	
受益証券1口当たり純資産価額(米ドル相当額)：		
クラスB EUR	USD	17.78
クラスD GBP	USD	24.14
クラスP JPY	USD	0.02
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)	USD	0.02
クラスU AUD	USD	16.06

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド 損益計算書および純資産変動計算書

2020年12月31日に終了した年度

	米ドル	
投資純利益		
収益		
配当（源泉徴収税控除後）	USD	1,268,520
利息		18,250
その他の収益		31
収益合計		<u>1,286,801</u>
費用		
運用報酬		51,537
管理報酬		106,769
取引費用		299,408
監査報酬		3,819
名義書換代理人報酬		18,502
年次税		16,048
預託費用		51,476
弁護士報酬		15,891
設立費		2,127
その他の費用		47,884
費用合計		<u>613,461</u>
運用会社からの払戻		<u>(131,202)</u>
費用純額		<u>482,259</u>
投資純利益		<u>804,542</u>
実現および未実現純利益（損失）		
投資に係る実現純利益		18,275,618
外国為替取引および外国為替先渡取引に係る実現純利益		1,054,040
先物契約に係る実現純利益		2
投資に係る未実現評価損益の純変動額		28,010,106
外国為替取引および外国為替先渡契約に係る未実現評価益の純変動額		250,826
投資に係る実現および未実現純利益		<u>47,590,592</u>
運用による純資産の純増加額		<u>48,395,134</u>
資本取引による純資産の減少額		(17,458,329)
純資産の増加額合計		<u>30,936,805</u>
純資産		
期首		165,642,875
期末	USD	<u>196,579,680</u>

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド 統計情報

2020年12月31日現在

	2020年12月31日現在	
純資産合計		
日興AMグローバル・エクイティ・ファンド		
クラスA USD	USD	27,316,954
クラスB EUR	EUR	3,964
クラスB USD	USD	1,554
クラスD GBP	GBP	481,880
クラスP JPY	JPY	3,273,251,453
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)	JPY	3,809,619,181
クラスU AUD	AUD	129,586,037
クラスB EUR (米ドル相当額)	USD	4,850
クラスD GBP (米ドル相当額)	USD	658,706
クラスP JPY (米ドル相当額)	USD	31,703,729
クラスP (JPYヘッジド・ユニット) (米ドル相当額)	USD	36,898,825
クラスU AUD (米ドル相当額)	USD	99,995,062

発行済受益証券口数

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド

クラスA USD	1,197,485
クラスB EUR	273
クラスB USD	100
クラスD GBP	27,290
クラスP JPY	1,587,142,171
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)	2,457,964,074
クラスU AUD	6,228,150

受益証券1口当たり純資産価額

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド

クラスA USD	USD	22.81
クラスB EUR	EUR	14.54
クラスB USD	USD	15.54
クラスD GBP	GBP	17.66
クラスP JPY	JPY	2.06
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)	JPY	1.55
クラスU AUD	AUD	20.81
クラスB EUR (米ドル相当額)	USD	17.78
クラスD GBP (米ドル相当額)	USD	24.14
クラスP JPY (米ドル相当額)	USD	0.02
クラスP (JPYヘッジド・ユニット) (米ドル相当額)	USD	0.02
クラスU AUD (米ドル相当額)	USD	16.06

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2021年10月12日）
（2020年10月13日～2021年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率		
8期(2017年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落 率	率
(期 首) 2020年10月12日	円		%
	10,025		—
10月末	10,025		0.0
11月末	10,025		0.0
12月末	10,024		△0.0
2021年1月末	10,024		△0.0
2月末	10,024		△0.0
3月末	10,024		△0.0
4月末	10,024		△0.0
5月末	10,024		△0.0
6月末	10,024		△0.0
7月末	10,024		△0.0
8月末	10,023		△0.0
9月末	10,023		△0.0
(期 末) 2021年10月12日	10,023		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年10月13日～2021年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,025円の基準価額は、期間末に10,023円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

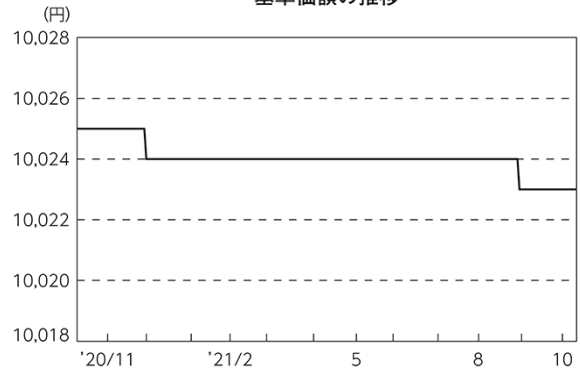
- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.09%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.11%近辺で期間末を迎えました。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2020/10/12	2020/10/13	2021/08/31	2021/10/12
10,025円	10,025円	10,023円	10,023円

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2021年10月12日現在)

2021年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2021年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,128,083	100.0
投資信託財産総額	1,128,083	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月12日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A)	資産			1,128,083,201
	コール・ローン等			1,128,083,201
(B)	負債			2,243,646
	未払解約金			2,243,348
	未払利息			298
(C)	純資産総額(A-B)			1,125,839,555
	元本			1,123,207,498
	次期繰越損益金			2,632,057
(D)	受益権総口数			1,123,207,498口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,023円

(注) 当ファンドの期首元本額は886,572,186円、期中追加設定元本額は632,898,400円、期中一部解約元本額は396,263,088円です。

(注) 2021年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	813,604,225円	・インデックスファンドMLP (1年決算型)	1,009,598円
・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	144,398,955円	・日興マネー・アカウント・ファンド	1,004,347円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	23,567,575円	・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	767,047円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (マネーボールファンド)	17,087,728円	・日興グラビティ・ファンド	728,091円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	13,715,420円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	617,119円
・エマージング・プラス (マネーボールファンド)	13,252,514円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	378,361円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	9,595,620円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	334,265円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	7,918,306円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	328,616円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型)	7,756,251円	・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	315,851円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド (1年決算型)	7,325,378円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	307,458円
・世界標準債券ファンド	6,868,613円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	214,081円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,581,650円	・グローバル株式トップフォーカス	213,583円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	154,691円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	5,749,668円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング)	99,902円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	4,825,092円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス (毎月分配型)	91,586円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	4,759,510円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	71,604円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	4,256,314円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	3,233,491円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,094,075円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	2,445,197円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	19,904円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	1,898,319円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・グリーン世銀債ファンド	1,880,386円	・DC世界株式・厳選投資ファンド	9,977円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型)	1,463,018円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,404,460円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円
・オーストラリア・インカム株式ファンド (毎月分配型)	1,330,360円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・ノーロード・インド株式フォーカス (毎月分配型)	1,276,352円		
・エマージング・プラス・円戦略コース	1,174,786円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0023円です。

○損益の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		円
	受取利息	△	135,779
	支払利息		277
(B)	当期損益金(A)	△	136,056
(C)	前期繰越損益金		2,192,863
(D)	追加信託差損益金		1,525,067
(E)	解約差損益金	△	950,094
(F)	計(B+C+D+E)		2,632,057
	次期繰越損益金(F)		2,632,057

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2020年10月13日から2021年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。